

十勝高等教育まちづくり会議

平成24年度の取り組み状況等について

(平成24年4月～平成25年3月)

1 十勝高等教育まちづくり会議（旧 十勝大学設置促進期成会）の会議開催経過等について

■ 会議開催

◇ 平成24年 5月 7日 ・第1回理事会開催

～ ①期成会検討小委員会報告 ②平成24年度総会議案[平成23年度事業・決算・監査報告、
規約改正（組織の見直し）、平成24年度事業計画・予算（案）、役員選任] について

◇ 平成24年 5月29日 ・第1回総会開催

～ 平成24年度総会議案について

◎ 組織見直し(改組) : 十勝大学設置促進期成会 ⇒ 十勝高等教育機関の整備推進に関するまちづくり会議

◎ 理事会の役割見直し: 専門部会の設置に関する協議を実施 ◎ 役員の変更

◇ 平成24年 8月27日 ・第2回理事会（書面会議）開催

～ 専門部会の設置（企画総務部会・事業部会）、企画総務部会メンバー選出

◇ 平成24年 9月19日 ・第1回企画総務部会開催（理事・監事から構成）

～ 部会長、副部会長の選出、専門部会の役割、事業部会メンバー選出・テーマ選定

◇ 平成24年10月25日 ・第1回事業部会開催（各団体・有識者から構成）

～ 部会長、副部会長の選出、事業部会の取組みについて

◇ 平成24年11月 5日 ・第2回企画総務部会（書面会議）開催

～ オランダ視察への参加について

- ◇ 平成25年 2月 5日 ・第3回企画総務部会開催 ～ 平成24年度の事業経過確認と平成25年度の事業計画など
- ◇ 平成25年 3月16日 ・オランダ視察報告会 ～ 帯広市、フードバレーとかけ海外視察訪問団と共催
- ◇ 平成25年 3月28日 ・第2回事業部会開催 ～ 事業報告・課題抽出、今後の進め方など

■ 視 察

- ◇ 平成24年10月21日～10月23日 ～ 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科、早稲田大学総長室訪問
- ◇ 平成24年10月31日～11月 1日 ～ 早稲田大学キャリアセンター、筑波大学、日本私立学校振興・共済事業団（私学経営情報センター）訪問
- ◇ 平成24年11月20日～11月22日 ～ 長野県上田市（信州大学繊維学部と地域との連携、AREC・F i i プラザほか6施設）事業部会員4名
- ◇ 平成24年12月 5日～12月 6日 ～ 慶應義塾生命科学シンポジウム参加、大学関係者との面談
- ◇ 平成25年 1月 9日～ 1月10日 ～ 群馬県桐生市（群馬大学工学部と地域との連携）事務局ほか
- ◇ 平成25年 2月 6日～ 2月 8日 ～ 岩手県盛岡市・花巻市（岩手大学と地域との連携等）事業部会員2名ほか帯広畜産大学理事・職員、帯広畜産大学整備拡充促進期成会事務局
- ◇ 平成25年 2月10日～ 2月16日 ～ オランダ視察実施 後藤理事（まちづくり会議企画総務部会長）ほか帯広畜産大学、地域農業者、事業者等の参加

※帯広市予算や帯広畜産大学整備拡充促進期成会の予算事業を含む

2 地域の発展に必要な高等教育機関に関する調査・研究等

(1) 帯広畜産大学との協議について

① 協議の場について

協議の場は、平成 17 年に締結した包括的連携協力協定に基づく連携協議会を活用し、同協議会の下に、全体企画調整を行う検討会議『地域発展に必要な高等教育の整備充実に係わる検討会議』を設置し、さらにその下に、テーマ毎に専門部会を設置し、具体的な協議、取組をすすめている。

② 主な協議・打合せ等

- ◇ 平成 24 年 5 月 9 日 ・国内外大学等との連携に係る意見・情報交換会（国際認証、コーネル、マディソン、オランダ等）
- ◇ 平成 24 年 5 月 25 日 ・帯広畜産大学小田副学長との意見情報交換（マディソン、オランダ等）
- ◇ 平成 24 年 7 月 25 日 ・帯広畜産大学と帯広市との懇親会（24 名参加）
- ◇ 平成 24 年 9 月 7 日 ・帯広畜産大学金山理事・副学長との打合せ（フードバレー人材連携強化事業オランダ視察）
- ◇ 平成 24 年 10 月 25 日 ・帯広畜産大学 企画調整役との打合せ（オランダ訪問、平成 25 年度予算を踏まえた今後の連携の進め方等）
- ◇ 平成 24 年 12 月 3 日 ・帯広畜産大学と帯広市（動物園）との打合せ ～ 新たな連携について
- ◇ 平成 24 年 12 月 17 日 ・第 1 回動物園連携会議（帯広畜産大学と帯広市）～ 今後の展開、平成 25 年度の取り組みについて
- ◇ 平成 25 年 2 月 6 日～8 日 ・帯広畜産大学、十勝高等教育まちづくり会議、帯広市合同視察実施
- ◇ 平成 25 年 2 月 18 日 ・第 2 回動物園連携会議
- ◇ 平成 25 年 2 月 22 日 ・帯広畜産大学と帯広市との連携協議会
- ◇ 平成 25 年 3 月 25 日 ・第 3 回動物園連携会議

③ 平成 25 年度に向けた協議

- ◇ 国内外大学等との連携に係わる意見情報交換会
- ◇ おびひろ動物園との新たな連携 ～ 帯広畜産大学と動物園との連携会議設置 ※平成 25 年 4 月 27 日サテライトブース開設

- ◇ 食農医連携研究センター整備に向けた協議
- ◇ フードバレー人材育成事業
- ◇ 人と馬の絆（ホースセラピー）による社会貢献事業
- ◇ 地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）

(2) オランダ視察 ……国内外大学等との連携に係わる意見情報交換会（海外大学関連）

- ◇ フードバレーの本場であるオランダは、ワーヘニンゲン大学を拠点に、企業や試験研究機関が集積しており、大学を核とした産学官連携では、世界を代表する成功事例となっている。現在、オール十勝で推進しているフードバレーとかちの取組みはもとより、本会議の趣旨である高等教育の視点からのまちづくりを推進する意味においても、このオランダ視察は大変意義があることから、「フードバレーとかち人材連携強化事業（※）」と連携し、本会議のメンバー及び帯広畜産大学の参加のもと実施。

本会議からは、企画総務部会、事業部会メンバーを対象に参加者を募集し、**後藤理事・企画総務部会長1名の参加**となったもの。

※「フードバレーとかち人材連携強化事業」

生産者と商工業者等が調査活動などの取組みを一緒にすすめることにより、将来の農商工連携、産学官連携の素地を創出するとともに、十勝管内の人材連携を促進する観点から、管内自治体を通じ町村のプレイヤーにも参加を促し、帯広市のみならず十勝全体の人材連携を促進し、フードバレーとかちを持続可能なものとする。

◇ メンバー・日程等

- ・参加者 11名（商工業者・農業者6名、畜産大学2名、十勝高等教育まちづくり会議1名、市職員3名）
- ・日 程 2月10日（日）～16日（土） 5泊7日
- ・訪問先 オランダ（ワーヘニンゲン大学、NIZO食品研究所、未来レストラン、トマトワールド社など）

◇ 本会議メンバー参加への支援

- ・参加費用の半額相当額（152,423円）を負担。

(3) フードバレーとかち人材育成事業

○事業内容

- ◇ 「十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業」(文部科学省補助事業、H19～23)で培ったノウハウを活かし、チャレンジ精神等を持って企業経営、異業種参入、起業化などの企業の発展、ひいては地域の経済発展に寄与するようなリーダーシップを発揮する人材を育成する(帯広畜産大学との共同事業)。

○平成24年度事業

1. プレイヤー研修コース

(1) 新事業展開プロジェクトマネジメントプログラム ◇参加19名/修了18名(7月17日～7月30日)

(2) 食品衛生スキルアッププログラム

◇ 初級 参加13名/修了11名(12月3日～12月5日)

◇ 中級 参加8名/修了8名(2月4日～2月6日)

◇ 上級 参加3名/修了3名(9月24日～9月26日)

◇ HACCP講習 参加5名/修了4名(10月5日、11月16日 全4回/12月4日、12月11日 フォローアップ+2回)

(3) 特別講演会及び自由選択講義プログラム (11月～2月 5講座程度開講/受講料 無料)

◇ 特別講演 / 演題:「自分たちの力でできる『まちおこし』」 参加26名(11月16日)

◇ 自由選択講義プログラム / 科目:財務管理 参加8名(11月30日)

◇ 今後の予定(自由選択講義プログラム) / 食品表示(1月24日)、その他:2コマ予定(日程未定)

2. コーディネーター研修コース ◇参加3名/修了3名(8月27日～平成25年3月13日)

3. 取り組みの主な成果

◇ 事業化等に意欲的に取り組むリーダー人材の輩出(プレイヤー研修コース36名/コーディネーター研修コース3名)

◇ 事業化に向けた企画案の掘り起こしとブラッシュアップ(コーディネーター研修コース 3件)

◇ 人的なネットワークの形成(修了生同士、修了生と市・畜大)

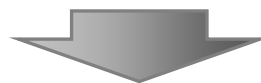
4. 平成25年度計画

- ◇ プレイヤー研修コースを「アグリ・フードビジネスプランコース」「食品安全管理コース」「循環型経営コース」に改編し、それぞれ入門編、応用編に区分
- ◇ コーディネーター研修コースを廃止する一方、修了生のフォローアップと各産業支援機関への橋渡しを強化

■ 平成25年度の計画（表）

	アグリ・フードビジネス プランコース	食品安全管理コース		循環型経営コース
入 門	アグリ・フードビジネス プラン講習（入門編）	食品有害微生物 講習（初級）	食品衛生 （入門編）	自由選択講義プログラム ・畜産廃棄物の利活用 ・循環型農畜産業 ・バイオガスプラント ・循環型農畜産業の経営
応 用	アグリ・フードビジネス プラン講習（応用編）	食品有害微生物 講習（中級）	食品衛生 （応用編）	
実 践	実践レベルの講習は行わず、修了生のフォローアップと各種支援機関への橋渡しを強化			

※)食品有害微生物講習(上級)は、中級修了者数を見て2～3年毎に実施



食関連分野での事業化や付加価値向上を牽引するリーダー人材育成

(4) 帯広畜産大学と北海道大学との共同教育課程の実施

- 平成24年4月より帯広畜産大学と北海道大学による共同獣医学課程を実施（各大学240人、1学年40人）
- 平成24年8月には初の両大学生を対象とした合同演習が帯広畜産大学で行われた（畜大40人、北大37人参加）
- ※平成25年4月には、北海道大学にて講義を実施

(5) 帯広畜産大学と大谷短期大学との大学間連携共同教育推進事業の申請

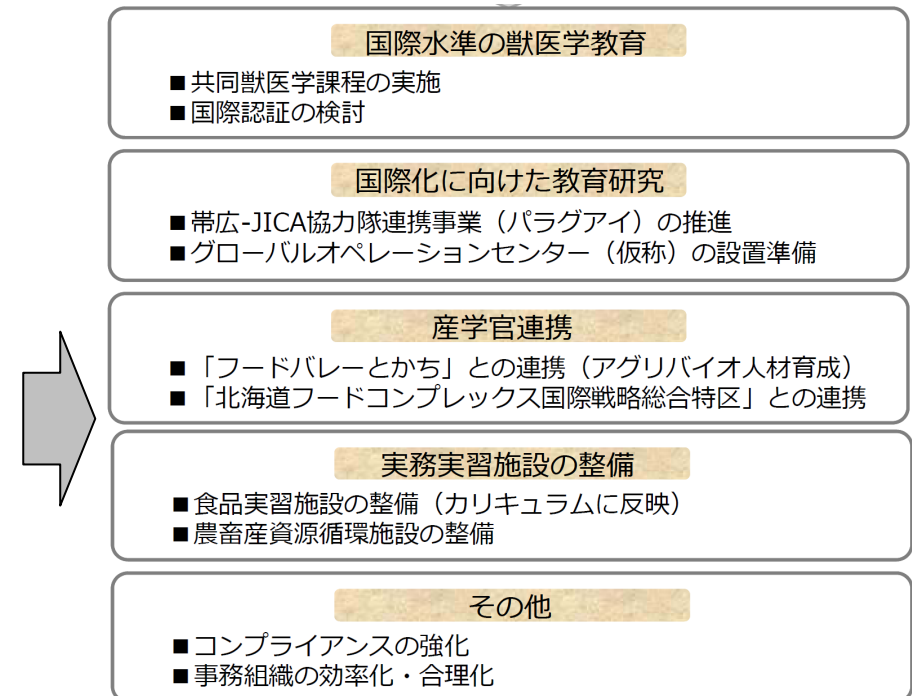
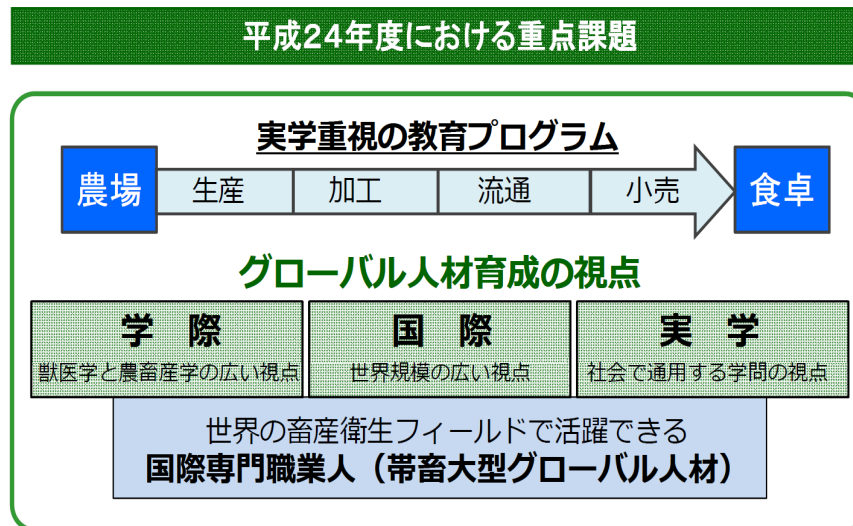
○文部科学省の補助事業である「大学間連携共同教育推進事業（地域連携型）」を活用し、帯広畜産大学と大谷短期大学、地域（帯広市、音更町、地域のNPO、関連企業）が連携した「介護福祉と食品の総合知識を持つ人材育成プログラムの構築」事業を申請（H24.6）。

○大谷短期大学で扱っている栄養士・介護分野と、帯広畜産大学の分野を取り入れることで、一つの大学では取得できなかった「食品衛生監視員」「介護福祉士」等の資格取得や、大谷短期大学から帯広畜産大学への3年次編入が可能となる予定。実施後は、地域の資源（福祉施設等）を活用し、地域（帯広市、音更町、NPO、関係企業）との連携のもと、介護高齢者向けの食品、機能性食品、精神衛生、メンタルヘルスなどの専門知識の実践的教育を行う。発展型として、4年後には、マディソン精神衛生プログラムの導入など、マディソンとの連携も視野。

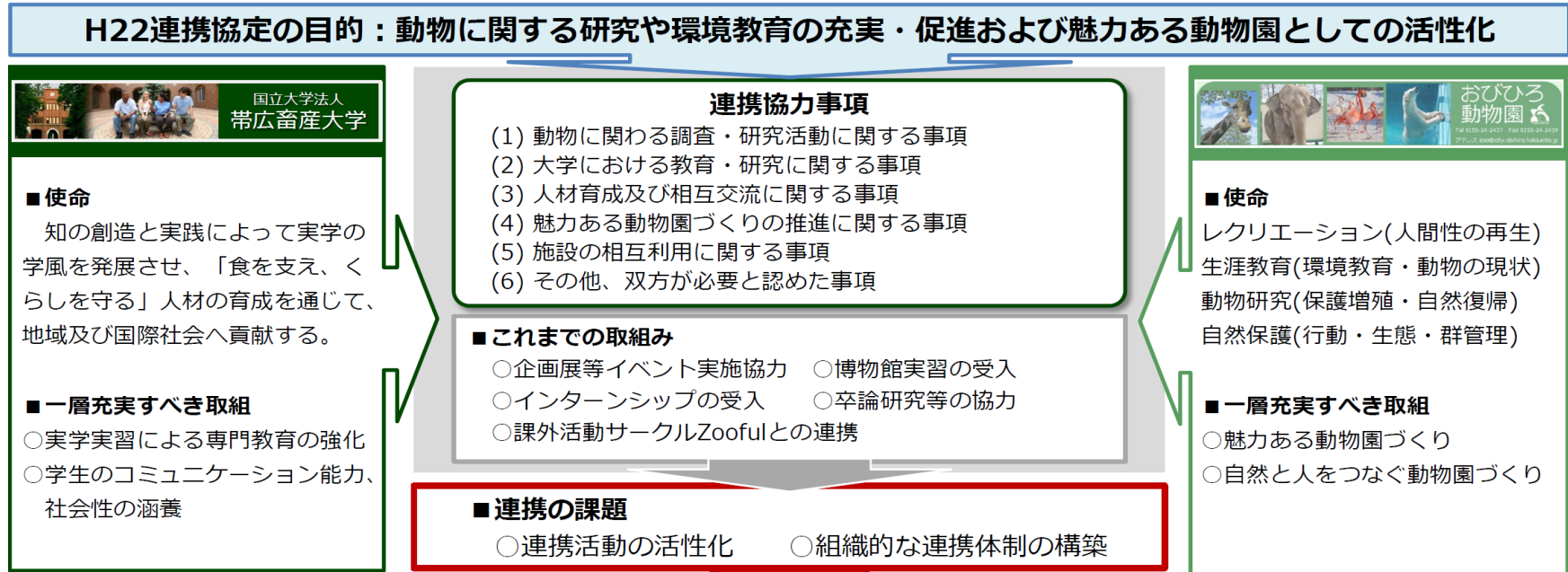
⇒ H24.9 不採択

(6) その他

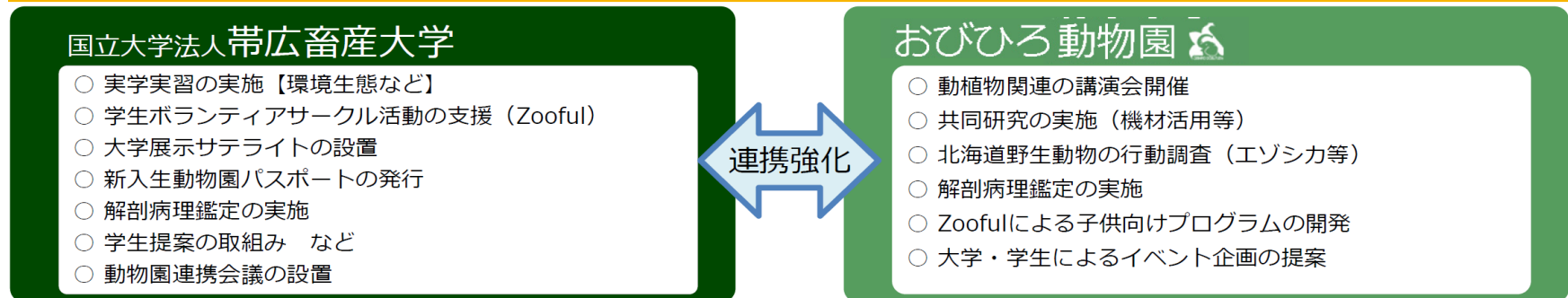
① 帯広畜産大学年度計画・実施計画



② 帯広畜産大学とおびひろ動物園との連携強化（動物園連携会議の設置 H24.12月）



帯広畜産大学・おびひろ動物園連携強化のイメージ



③ 帯広畜産大学の主な動き（平成24年度）

- ◆ 平成24年 4月 1日 北海道大学との「共同獣医学課程」スタート
- ◆ 平成24年 4月17日 「フードバレーとたち人材育成事業」の共同事業契約締結
- ◆ 平成24年 4月20日 敷島製パン株式会社と包括連携協定
- ◆ 平成24年10月 2日 カルビー株式会社と包括連携協定（H25.4.19 寄附講座開設）
- ◆ 平成24年11月 7日 白寿生科学研究所寄附講座「生命平衡科学講座」開設
- ◆ 平成24年12月14日 製パン実験施設（とち夢パン工房）完成
- ◆ 平成24年12月19日 タイ王国チェンマイ大学と学術交流協定
- ◆ 平成25年 1月24日 帯広信用金庫・とち財団と共同研究契約を締結
- ◆ 平成25年 2月 HACCP 準拠の食品加工実習施設完成
- ◆ 平成25年 2月22日 「欧米水準の獣医学教育実施体制構築」国の事業採択

<平成24年3月以前>

- ◆ 平成23年10月8日 北海道大学との「共同獣医学課程」協定
- ◆ 平成22年7月29日 帯広市動物園との連携協定
- ◆ 平成22年3月1日 株式会社 Thket 社と包括連携協定
- ◆ 平成22年4月8日 独立行政法人国際協力機構と連携協定
- ◆ 平成22年3月29日 更別農業高等学校と連携協定
- ◆ 平成21年7月6日 よつ葉乳業株式会社との包括連携協定

十勝地域はもとより、国内外における様々な連携が展開されている

3 慶応義塾大学アグリゼミ 十勝視察

- 慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科アグリゼミの十勝視察。十勝管内の農場や農業関連施設を視察。農業者や帯広畜産大生との意見交換、「フードバレーとたちと消費者をつなぐ」をテーマとしたワークショップなどを実施。

○日 時：平成24年8月27日～8月30日（3泊4日）

○参 加：SDM 研究科 農都共生ラボ担当の林美香子特任教授と白坂成功准教授、大学院生 8 名

◇ フォローアップ：平成24年12月 5日～12月6日 ～ 慶応義塾生命科学シンポジウム参加、大学関係者との面談

4 筑波大学大学院留学生受入事業

(1) 事業目的

筑波大学大学院留学生の移動講座を帯広市で実施し、市民との交流を通して帯広・十勝への理解を深めることを目的とする。

(2) 事業名

筑波大学大学院留学生帯広サマースクール

◇ 講座名：筑波大学大学院人文社会科学研究科国際地域研究専攻JICE-JDS「国際関係論特別講座」

(3) 平成24年度受入実績

- ① 期 間 平成24年8月28日(火)～9月3日(月)
- ② 人 数 11名 (教員3名 / 留学生8名 [3カ国：中国・カンボジア・ミャンマー])
- ③ 地元聴講生 1名 ……6か年累計21名
- ④ 実施内容
 - ◇ 講 義 (留学生移動特別講座) : 8月30日(木)・9月1日(土)・9月2日(日)
 - ◇ 現 地 視 察 (農業関連施設等の視察) : 8月29日(水)・8月31日(金)
 - ◇ 一般公開講座(市民大学講座と連携) : 8月30日(木) 55名参加

(4) 過去の受入実績(平成19年度～：5か年で合計105名)

- ◇ 平成19年度 32人(教員4人・留学生28人)
- ◇ 平成20年度 18人(教員3人・留学生15人)
- ◇ 平成21年度 14人(教員4人・留学生10人)
- ◇ 平成22年度 15人(教員2人・留学生13人)
- ◇ 平成23年度 26人(教員等3人・留学生23人)

※平成25年度は当該専攻の秋入学移行に伴い、日程の都合上実施しないこととなった(平成26年度は実施予定)

5 早稲田大学インターンシップ受入事業

(1) 事業目的

早稲田大学の学生をインターンシップの学生として受入することにより、帯広・十勝への理解を深めることを目的とする。

(2) 平成24年度受入登録機関

- ① JICA北海道（帯広） ② 帯広市農政課（農業技術センター） ③ 帯広市環境モデル都市推進室
④ 帯広市川西農業協働組合 ⑤ とかち財団

(3) 平成24年度受入実績 3名

- ① JICA北海道（帯広） 文化構想学部 3年 8月6日～8月17日
② とかち財団 法学部 3年 8月27日～9月7日
③ 帯広市農政課（農業技術センター） 法学部 3年 9月10日～9月23日

(4) 過去の受入実績（平成21年度～）

- ① 平成21年度受入実績 3名
◇ JICA帯広国際センター（2名） ・法学部 3年 8月2日～8月17日
 ・政経学部 3年 8月6日～8月19日
◇ 帯広市役所農政課 農業技術センター（1名） ・政経学部 3年 9月3日～9月24日
- ② 平成22年度受入実績 1名
◇ JICA帯広国際センター（1名） ・文学部 3年 8月6日～8月19日
- ③ 平成23年度受入実績 1名
◇ JICA帯広国際センター（1名） ・創造理工学部 3年 8月8日～8月19日（市と共同受入）

6 星槎大学帯広サテライト(学校法人 国際学園)の展開

(1) 開校日 平成21年10月1日

(2) 設置場所 帯広経済センタービル3階(西3南9)

(3) 事業概要

- ◇ 教育支援やフリースクール事業(高校の中途退学者、小中学校の不登校児童生徒、特別支援教育の必要な児童等)
- ◇ 生涯学習事業(市民対象)や国際交流・国際理解に係る講座の開設
- ◇ 教員免許更新講習の実施

(4) 地域貢献事業等

- ◇ 東日本大震災被災者受入事業の実施・・・福島県の児童34名(平成24年7月25日～7月31日:7日間)
- ◇ 「第1回学校祭～まちなかにぎわい祭り～in 帯広 星槎祭」の開催(平成24年9月15日)～中心市街地のにぎわい創出に貢献
- ◇ おびひろ文化体験事業の実施(帯広市・帯広市教育委員会共催、毎年明け1回)

(5) おびひろ地域若者サポートステーション

- ◇ 平成23年6月2日、帯広信用金庫第3ビル内に開設。
- ◇ 学校法人国際学園が厚生労働省から受託。同サテライトが運営。
- ◇ 悩みを抱える若者(15～39歳)が就労に向かえるような支援を行う。
- ◇ 道内では札幌、旭川、釧路、函館、苫小牧、帯広に設置されている。
- ◇ 管内のニート・ひきこもりの若者(平成22年3月)は2,600人。平成24年度は延3,186人が利用し62名が進路決定。